



# 河原地区人推協だより



河原地区人権啓発推進協議会（河原地区公民館内） ☎85-2959 / ☎85-2970

## 【令和7年度小地域懇談会を終えて】

河原地区人権啓発推進協議会 会長 松岡 一

今年度も各部落で小地域懇談会の準備、運営、参加をいただきありがとうございました。地区全体を取りまとめた内容、感想については、部落長さん、推進委員さんに12月に報告いたしました。（感想については、この『人推協だより』では紙面の都合上一部分の紹介としております）

さまざまな感想を読み、目を開かれたり心を打たれたりしました。人権啓発映画「やさしく の意味～おばあちゃんは認知症だった」の主人公が小学生であったことや認知症の家族にどう接するべきかという内容から、ご自身の体験を思い出し、介護されているご家族に対して気持ちの余裕が十分に持てなかった反省とともに、お子さんはやさしく接されて、それをいつまでも介護されたご家族が覚えておられたとつづられたものもありました。

子どもに教えられると言えば、一昨年、徒歩で登校している小学生たちを見て、一番遠い登校班は学校までどれくらいかかる

のかと実際に歩いてみたことがあります。30分でした。後日、6年生女子のリーダーに確かめると、「45分です」。ふしぎに思い訳をたずねると「1年生を連れていっていると時間がかかります」と返ってきました。さらに、皆を待ち受けるために6時50分には家を出ているとのことでした。年度がかわっても、何度も後ろを振り返りながら下級生を引き連れていく、新しいリーダーたちの姿があります。その子たちも、これまでは年長のリーダーに守られ、その姿を見ながら登校してきたのでしょう。

「子どもは言うようにはしない、するようにする」という言葉があるそうです。子どもは言われることよりも人の姿から学んでいるという、大人への戒めです。「やさしさは全ての人の心を動かすとても大切なことであり、十分に気をつけていきたい」という小地域懇談会の別の感想とも重ね、ふだんの自分を振り返った次第です。

事業名	内 容	開催日
人権啓発教育事業	人権啓発映画上映会 『学校』	令和7年 6月18日
人権講演会	高齢者と人権～認知症を知ろう～ 講師 鳥取市人権教育推進委員 植田 和夫さん	7月5日
小地域懇談会学習会	DVD視聴・小地域懇談会事前打ち合わせ	9月24日
小地域懇談会	11部落ごとにDVD視聴し感想を交流	10月5日～ 11月22日
人権視察研修	姫路市にあるSoraかさいと書写山圓教寺を訪問	10月28日
国際交流事業	世界の料理教室『韓国編』 講師 鳥取市国際交流員 李 在漢(イ・ジェハン)さん	令和8年 2月6日
広報啓発事業	『河原地区人推協だより』の発行 公民館だよりにも人推協事業の掲載	2月25日 随時

# 令和7年度河原地区公民館との共催事業

## 人権啓発事業 映画鑑賞会

「学校」 6/18 (水) 参加者 14名

映画『学校』（1993年公開）は、東京下町の夜間中学校を舞台に、教師と多様な背景を持つ生徒たちの交流を描いた人間ドラマです。卒業を前に、作文を通じて生徒たちの人生や思い出が語られ、やがて一人の生徒の死をきっかけに「幸福とは何か」を問いかける物語でした。

## 人権視察研修

Soraかさいと書写山圓教寺 10/28 (火)

参加者 15名

Soraかさいでは、鷓野飛行場跡や戦闘機『紫電改』などの展示を通じて、戦争の記憶を次世代へ伝える取り組みがおこなわれています。特攻隊の出撃地として多くの若者が命を落とした歴史を学び、平和の大切さを考える場となっています。特攻隊として飛び立った若者たちの写真や直筆の手紙に触れたり、狭くて真っ暗な防空壕の中に入る体験をしたりと、数字ではなく「人の物語」として戦争を

学び、平和の尊さを改めて心に刻むことができました。続いて訪れた書写山圓教寺は、九六六年に性空上人によって開かれた天台宗の名刹で「西の比叡山」とも称される広大な寺院です。境内には大講堂、常行堂、食堂などの重要文化財が並び、千年以上前の歴史を今に伝えていす。

今回の研修を通じて、私たちは戦争の歴史から、平和の尊さと共生の精神の両面を体験しました。

今年度の人権視察研修では、兵庫県加西市にある戦争についての研修施設「Soraかさい」と、姫路市の歴史的名刹書写山圓教寺を訪問しました。



## 国際交流事業 世界の料理教室『韓国編』

2/6 (金) 参加者 15名



2月6日(金)に鳥取市国際交流員の李 在漢(イ・ジェハン)さんを講師にお招きして韓国料理教室(ポッサム・韓国みそ汁・キムチ・キンパ)を教えていただきました。

参加された方々は作った料理を食べながら、韓国の魅力やクイズを交えたプレゼンテーションをしていただき、楽しくにぎやかに交流をはかりました。

# 【令和7年度小地域懇談会実施報告】

河原地区人権啓発推進協議会では、より多くの方に気軽に参加していただける会をめざし、前年度に実施したアンケートの集計結果を参考にして、関心の高いテーマを反映した形で計画しています。

今年度は認知症にどう向き合うをテーマとした映画「やさしく」の意味～おばあちゃんは認知症だった～を視聴していただきました。認知症の家族に対して、身近な家族としてどのように接すればよいかを学んでいく小学

生の実話をもとに作成された映画でした。

学習後は、感想交流・アンケートにご協力いただきました。

各部落の部落長さん及び推進委員さんのご尽力のおかげで、134名の参加と、昨年度より15名増となりました。心よりお礼申し上げます。

今後も多くの住民の方に参加いただけるよう工夫していきたいと思っておりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

実施日	部落名	R7年度参加者
10月5日(会合時)	鮎ヶ丘	11
10月11日(単独開催)	下渡一木	9
10月12日(単独開催)	袋河原	23
10月26日(単独開催)	長瀬	13
10月29日(単独開催)	上渡一木	6
11月2日(単独開催)	夢ヶ丘	3
11月7日(単独開催)	旭河	8
11月8日(会合時)	布袋	11
11月9日(単独開催)	稲常	15
11月16日(単独開催)	谷一木	15
11月22日(会合時)	河原	20
	合計	134



## アンケート集計結果

質問内容	回答	合計	割合
年代	～20代	3	2.3%
	30代	1	0.8%
	40代	15	11.3%
	50代	24	18.0%
	60代	46	34.6%
	70代	37	27.8%
	80代～	6	4.5%
	無回答	1	0.8%
	計	133名	
内容	よくわかった	77	57.9%
	だいたいわかった	46	34.6%
	わかりにくかった	0	0.0%
	無回答	10	7.5%
	計	133名	
今後取り上げたい内容	① 同和問題(部落差別)	4	1.2%
	② 男女共同参画に関する人権問題	16	4.8%
	③ 障がいのある人の人権問題	38	11.3%
	④ 子どもの人権問題	19	5.7%
	⑤ 高齢者の人権問題	34	10.1%
	⑥ 外国人の人権問題	16	4.8%
	⑦ 病気にかかわる人の人権問題	23	6.9%
	⑧ 個人のプライバシー保護	27	8.1%
	⑨ アイヌの人々の人権問題	3	0.9%
	⑩ 刑を終えて出所した人の人権問題	2	0.6%
	⑪ 犯罪被害者やその家族又は遺族の人権問題	12	3.6%
	⑫ 性的マイノリティの人権問題	6	1.8%
	⑬ ハラスメント(職場における)に関する人権問題	23	6.9%
	⑭ 生活困窮者の人権問題	17	5.1%
	⑮ インターネットにおける人権問題	46	13.7%
	⑯ 災害時における人権問題	35	10.4%
	⑰ 自死にかかわる人の人権問題	12	3.6%
	⑱ その他	2	0.6%
	計	335	



# 小地域懇談会で地域の皆さんからいただいた感想・意見から



■認知症を、身近な問題、自分のこと、誰もが直面する問題ととらえたとする感想(16人)

○避けて通れない病気というか切実なことで自分に起こる可能性も高いし自分の周りにも起こりうるので、その時あわてるのではなく今から心の対処の仕方を受け止める必要を感じた。

■認知症の理解やその対応について書かれた感想(61人)

○認知症の年寄りに対する接し方について考えさせられました。私の家にも認知症の年寄りがいます。これからは、本人が安心して楽しく過ごせるよう接していこうと思います!! 後で後悔しないために……!!

■認知症についての学習、周囲や地域との関わりについて書かれた感想(16人)

○認知症を知る、聞く、見る、機会にふれることが重要と思う。

○関心を持つ機会が小学校からあればもっと良い。○核家族の今、高齢者とのふれあい、かわりが少なくなっている。そうした中で認知症を知る機会も少なく、関わり方が分からない、いかに早く認知症に気付くかが重要と思う。

■認知症の予防について書かれた感想(5人)

○自分も認知症にならないよう、食事・運動・頭を使うこと、ストレスをためないように気をつけようと思いました。

■認知症に対する行政サービスについて書かれた感想(16人)

○資料の中に記してあった助成や、いろいろなシステム活用などを知れたのは良かったと思いました。

○離れて暮らす親が一人暮らしで、地域の包括センターに見守りを頼んでいるので安心できるという話もでたりと、地域のサービスがあれば積極的に利用した方がいいとの情報も共有できました。

■自分の体験と重ねて書かれた感想(4人)

○参加された方が、ご家族が認知症になり大変だったことを話してくださり、DVDと同じで、変わっていく様子を見るのはつらかったこと、実際にあることだと、みんなで共有できました。

■ビデオの選定や内容について書かれた感想・意見(4人)

○DVDの内容は子どもさん向けかなと思われ、集まった人の中には、内容に不足を感じられた方がいらっしやいました。なお、資料にはそれを補足、また、詳しくまとめたのでそれがよかったですとの声もありました。

## 人権講演会 高齢者と人権

～認知症を知ろう～(河原人権福祉センター共催) 7/5(土) 参加者 25名

講師：植田 和夫さん



今年度は講師に鳥取市人権教育推進員植田和夫氏を講師に迎え開催しました。講演では「高齢者と人権認知症を知ろう」をテーマに、高齢化社会の現状と認知症への理解について学びました。

近年、高齢者の割合は増加傾向にあり、認知症の人も年々増加し、現在ではおよそ高齢者の5人に1人が認知症といわれています。こうした状況を踏まえ、共生社会の実現に向けて、認知症の診断と対応の基本、そして認知症の人と接する際の心構えについて分かりやすく説明がありました。

参加者は、認知症を正しく理解することが偏見や差別をなくし、高齢者の人権を守ることに繋がるといふ点を改めて認識しました。また、地域全体で支え合い、安心して暮らせる環境を整えることの重要性を考えさせられる内容となりました。

本講演会を通じて、認知症に対する理解を深めるとともに、誰もが尊厳を持って暮らせる「共生社会の実現」に向けて、地域として取り組むべき課題を共有することができ、さらにその内容を小地域懇談会にも生かすことができました。